

取扱説明書 品番：3DA-X

この度はPIVOT製品をお買い上げいただきありがとうございます。
この説明書はよくお読みいただき大切に保管してください。

- 製品を他の人へお譲りする場合は、必ず取扱説明書（本書）をお付けください。

製品

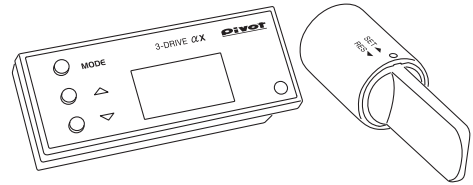
+



オートクルーズ付きスロコン

3-drive・αX

衝突軽減システム車対応



レバースイッチは必ず説明書をよくお読みの上装着してください
(7、8ページ参照)

目次

ご使用のまえに	1	手順4 車速パルス設定	10
製品の特長	2～3	テスト走行	10
特長	2	基本動作	11
内容物	3	スロコン操作方法	12
各部の名称	3	アクセル開度モニター	13
警告・注意	3	オートクルーズ操作方法	14～16
手順1 配線接続方法	4～5	セット	14
ブレーキスイッチ	4	解除	15
車速信号・レバースイッチ・専用ハーネス	5	設定速度を変える	15
手順2 製品の固定	6～8	復帰・レベル調整	16
手順3 初期設定（アクセル開度設定）	9	故障かな？と思ったら	17～18
		表示の種類	19



装着後は必ず「初期設定」をする

製品装着後はクルマの特性を設定する「初期設定」（⇒9ページ）を必ず行ってください。「初期設定」を行わないとクルマ側の **チェックランプ** が点灯する場合があります。また、モード表示を換えても **ノーマル状態** のままです。

作業が不安な方

本製品は配線接続など一部専門知識が必要です。作業が不安な方は販売店にご相談ください。

専用ハーネスは3-drive用を使用

不具合の原因となりますので、専用ハーネスは必ず3-drive用をご使用ください。

純正オートクルーズ装着車には取付できません

製品の取り外し時はノーマルモード

製品を取り外す時は、ノーマル（NORMAL）モードにしてください。
他のモードで接続すると、**チェックランプ**が点灯する場合があります。

製品改造の禁止

本製品の改造は、クルマ側の不具合や製品故障の原因となり、走行にも影響を及ぼしますので絶対にしないでください。

ご使用の
まえに

製品の特長

配線接続
の方法製品の
固定初期設定
の注意車速パルス
の設定

操作方法

お困りの
ときは

特長

オートクルーズ機能

アクセル操作をしなくても設定速度でオートクルーズ走行が行えます。

設定速度

オートクルーズは40～140km/hの範囲で作動します。

簡単なスイッチ操作

レバースイッチによりオートクルーズ速度の設定、増速、減速、復帰、解除の各操作が簡単に行えます。

操作しやすい新設計のレバースイッチ2

新設計のレバースイッチ2は、コラムカバーに両面テープで装着でき、ハンドルを握ったままでも操作がしやすくなります。

※ スイッチ操作部は強い力により破損する場合がありますので、足や車輪スイッチなどが当たらない場所に装着してください。

オートクルーズの設定速度表示

オートクルーズ走行中は表示部に設定速度を常に表示することで設定が分かりやすく、増速・減速時にも便利です。

衝突軽減システム車にも対応可能

オートクルーズ中クルマ側の衝突軽減システムが動き自動ブレーキが作動すると同時に解除し安全を維持します。

アラーム音確認

アラーム音により主要動作が確認できます。

※ アラーム音は音楽やエンジン音、ユニットの装着条件などで聞こえない場合があります。

表示輝度自動切り換え

周囲の明るさに応じ表示の明るさが見やすく自動切り換え。

燃料消費量比較

オートクルーズ走行 (60 km/h)	121 cc
波状走行 (55～65 km/h)	151 cc
波状走行 (50～70 km/h)	183 cc

本数値は道路環境などで異なる場合があります。

車種＝スズキ ワゴンR (MH23S)

道路勾配＝上り平均1.5度／距離＝1.5km

※波状走行とは、設定速度の上下を周期的にアクセル操作したものです。

スロットルコントローラー

アクセルの踏み込みに量に対するレスポンスが調整でき、お好みに応じた走行が可能。

スポーツモード

アクセルの全域のレスポンスを上げスポーツ走行に最適。

レスポンスモード

アクセルの0～中間域までのレスポンスを上げリニアなワイヤースロットルのような特性。

ECOモード

アクセルの全域のレスポンスを下げ加速調整しやすくエコ運転や急加速運転抑制に最適。

オートブレーキホールド車にも対応

純正のオートブレーキホールド車の自動停止中に誤解除されない制御システムで安心してご使用いただけます。

加速時間比較

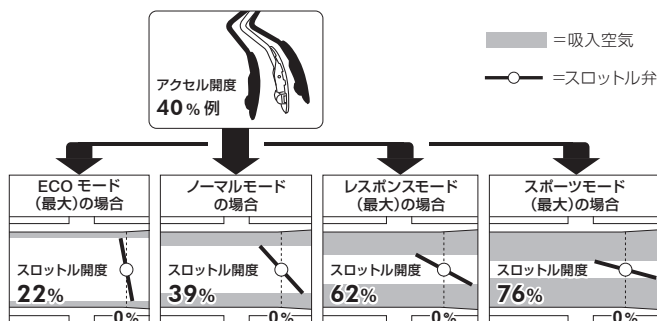
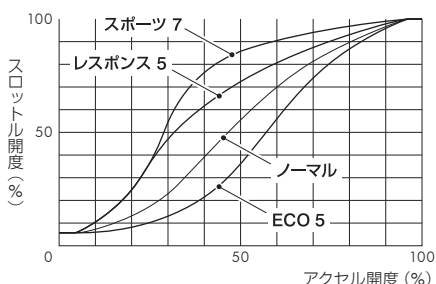
ノーマル	23秒
スポーツ 7	19秒
レスポンス 5	20秒
ECO 5	29秒

燃料消費量比較

ノーマル	107 cc
スポーツ 7	157 cc
レスポンス 5	117 cc
ECO 5	58 cc

車種＝ホンダ ステップワゴン (RG1) / 距離＝0～400m / アクセル開度30%固定

スロットル開度変化



※ スポーツモードは7段階、ECOモード、レスポンスモードは5段階の調整が可能です。

※ バルブマチックエンジンなどを採用している一部車種では、スロットルバルブではなく吸気バルブで制御を行っている場合があります。

ご使用の
まえに

製品の
特長

配線
接続
方法

製品の
固定

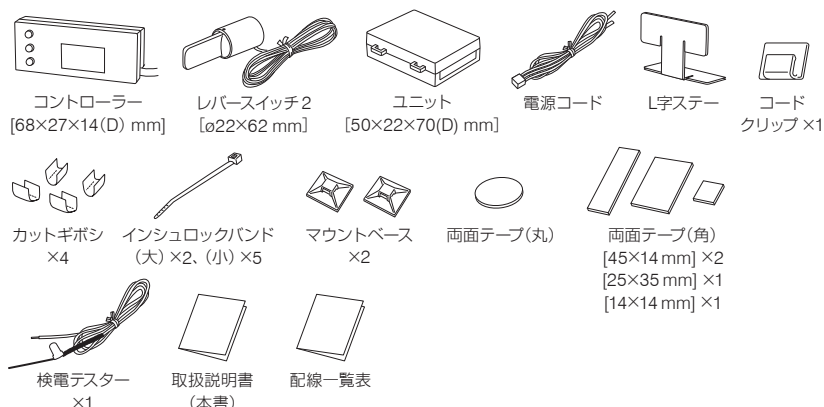
！
初期
設定

車速
バルス
設定

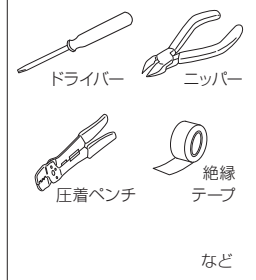
操作
方法

お困りの
ときは

内容物をご確認ください



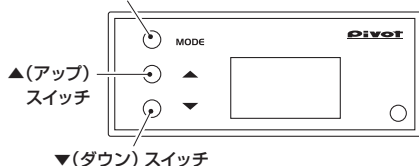
装着時に準備する道具と材料



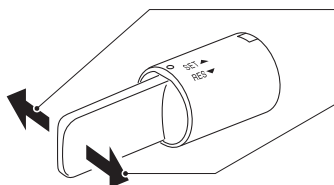
各部の名称

● コントローラー

MODEスイッチ



● レバースイッチ 2 (本文内=レバースイッチ)



名称	オートクルーズモード		オートクルーズ 走行時	各設定
	OFF時	ON時		
MODE スイッチ	モード切り換え		オートクルーズ 解除	—
▲(アップ) スイッチ	各モードの変化率切り換え		オートクルーズ 解除	車速/バルス 設定
▼(ダウン) スイッチ	各モードの変化率切り換え		レベル調整	初期設定
SET ▲スイッチ	オートクルーズ モードON (1秒長押し)	オートクルーズセット オートクルーズモード OFF (3秒長押し)	設定速度を上げる	—
RES ▼スイッチ	—	オートクルーズ復帰 (リジューム)	設定速度を下げる オートクルーズ解除 (1秒長押し)	—

！ 警告

事故や人体へ危険を
及ぼす可能性があります。

- 誤発進防止上、各作業中はエンジンを切りギヤをPまたはNにする。
- 排気ガス中毒防止上、換気の悪い場所ではエンジンをかけない。
- ショートによる火災防止上、各電線の被覆は破れないようにする。
- 交通事故防止上、運転や操作に支障のある場所に製品は装着しない。
- わき見運転防止上、製品操作や表示確認は短時間で行う。

！ 注意

車輛や製品故障、怪我
の可能性あります。

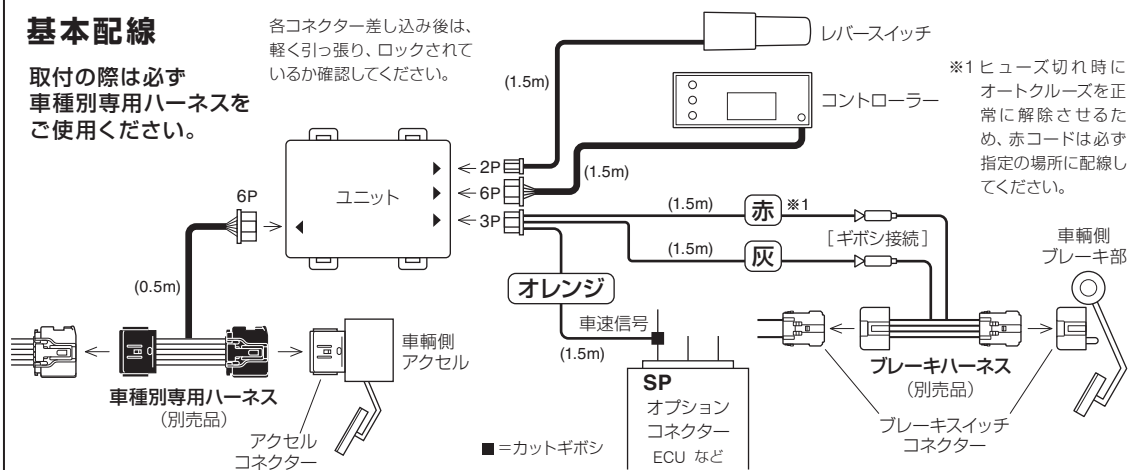
- 本製品装着には専門知識が必要です。
- 故障防止上、製品改造は行わない。
- 間違った使用方法や製品故障による、事故、車輛故障、製品故障など
一切のトラブルに弊社は責任を負いません。
- エンジンチェックランプが点灯した場合は製品使用を中止する。

配線接続方法

基本配線

取付の際は必ず
車種別専用ハーネスを
ご使用ください。

各コネクタ差し込み後は、軽く引っ張り、ロックされているか確認してください。



※1 ヒューズ切れ時に
オートクルーズを正
常に解除させるた
め、赤コードは必ず
指定の場所に配線し
てください。



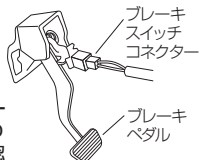
 ● 車輛側コードへの接続時は、通電不良の原因となるため、「エレクトロタップ」を使用せず、付属のカットギボシを使用するか半田付けをし、テープで絶縁処理を行ってください。

- ブレーキスイッチコネクタは車種、グレード、年式などで異なる場合がありますので、「配線一覧表」で形状を確認してください。
- 配線作業は必ずバッテリーの⊖端子を外して行ってください。

ブレーキスイッチ（ブレーキ電源とブレーキスイッチ信号）

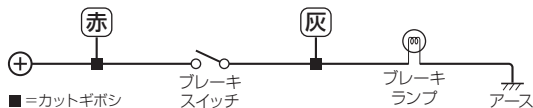
赤 ブレーキ電源へ (常時 12V)

〔灰〕 ブレーキスイッチ信号へ



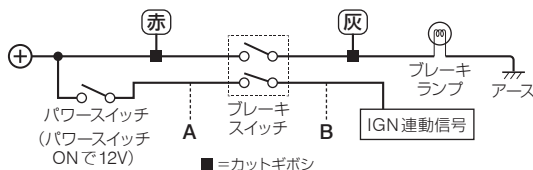
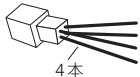
- ブレーキスイッチコネクターからのコードは2本または4本以上場合があります。「配線一覧表」で接続場所を確認し、検電後に接続してください。
- 接続完了後は必ずブレーキランプの点灯確認を行ってください。
- 
- ブレーキペダル

コネクタのコードが2本の場合



❗ コネクタのコードが4本以上の場合

コードが4本以上の場合、下記A・Bの場所には接続しません。(各コード接続場所の検電方法は下記のとおりです。)



検電方法 (⇒ 5 ページ【参考1】検電テスター (付属品) の使い方参照)

1. パワースイッチはOFFでギヤはP (パーキング) またはN (ニュートラル)
2. 別紙「配線一覧表」で指定された接続場所の端子部を検電確認

製品コード色	ブレーキ踏まない	ブレーキ踏む	
赤	 (12V)	 (12V)	ブレーキ電源
灰	 (0V)	 (12V)	ブレーキスイッチ信号

☀=検電テスト点灯 ○=消灯

※コードが4本以上の場合、残りのコードには配線しません。

配線方法を選んでください

「直接接続」か「ブレーキハーネス」から配線方法を選んで作業を行ってください。

- ①指定の接続場所は検電確認を行ってから接続してください。
- ②未確認の車種は検電確認を行い、接続してください。

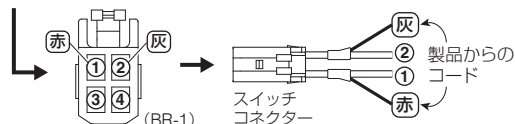
直接接続の場合

「配線一覧表」の“接続番号”のコードへ、赤と灰コードを
付属のカットギボシを使用して接続してください。
(⇒ 5 ページ【参考2】カットギボシの使い方参照)

 表中の“ブレーキハーネス接続コード色ではありません。”

例：トヨタアルファード（H20.5～）の場合

TOYOTA		ブレーキ ハーネス 品番	直接接続 接続番号	ブレーキ ハーネス 接続色	接続番号
車 名	年 式		製品のコード色		
			赤	灰	
アルファード・ ヴェルファイア	H20.5～	BR-1	①	②	青 黄



ブレーキハーネス（別売品）使用の場合

「配線一覧表」の“ブレーキハーネス接続色”へ、赤と灰コードを接続してください。
(詳しくはブレーキハーネス取扱書を参照してください。)

例：トヨタアルファード（H20.5～）の場合
TOYOTA

車名	年式	ブレーキ ハーネス 品番	直接接続 接続番号	ブレーキ ハーネス 接続色
アルファード・ ヴェルファイア	H20.5～	BR-1	製品のコード色	
			赤 1	灰 2
			青	黄

車速信号

オレンジ

別紙「配線一覧表」で位置を確認し、付属のカットギボシを使用し接続。

(下記【参考2】カットギボシの使い方参照)

※ 接続は車輻側コードの指示された場所に行ってください。
(CAN-BUSアダプターには接続しないでください。)

配線
一覧表

電源コード

3P コネクタ

ユニット側面へ接続。

コントローラー

6P コネクタ

ユニット側面へ接続。

レバースイッチ

2P コネクタ

ユニット側面へ接続。

！ オートクルーズを使用しない場合の配線

赤

= 常時 12V (ブレーキ以外でも可)

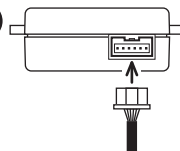
灰

オレンジ = どこにも接続しない

車種別専用ハーネス (別売品)

6P コネクタ

ユニット側面へ接続。



！ 車輻側 アクセルコネクタを抜く時の注意

チェックランプ点灯防止のため、アクセルコネクタの取り外しはプレンジにしてパワースイッチOFF後、ドアを開けた状態で15分以上経過してから行ってください。



チェックランプが点灯した場合の消灯方法 ⇒ 20 ページ

※ アクセルコネクタへの装着方法は、各専用ハーネス付属の説明書を参照してください。

！ 各コネクタ脱着時の注意

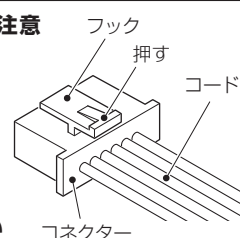
装着時

フックの向きを合わせてコネクタを持って差し込む

抜く時

フックを押しながらコネクタを持って引き抜く

※ 抜く時コードは引っ張らない



●一部の車種において、電流容量不足から付属検電テスターやLED 検電テスターが使用できない場合があります。その場合はアナログテスター等をご使用ください。

【参考1】 検電テスター (付属品) の使い方

1 アースをするネジを緩め、コードの先端 (芯線) を入し締める。 ※ アース用ネジは金属に固定されたネジを使用してください。プラスチック部に固定されたネジや塗装ネジでは絶縁状態になり、通電しません。 コードの先端 金属部	2 検電する場所にLEDの先端を接触させる。 アース (ネジ等) 検電テスター (付属) LED 点灯=12V 消灯=0V
---	--

【参考2】 カットギボシの使い方

1 10mm クルマ側のコードの被ふくを剥く	2 10mm 製品側のコードの被ふくを剥く	3 芯線を絡める	4 カットギボシ 芯線が抜けないように圧着ペンチでかきしめる	5 絶縁テープを3周程度巻き確実に絶縁する
--------------------------------------	-------------------------------------	------------------------	--	-------------------------------------

ご使用の
まえに

製品の特長

配線接続の方法

製品の固定

！ 初期設定

車速バルブの設定

操作方法

お困りのときは

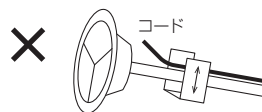
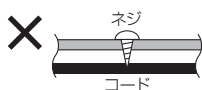
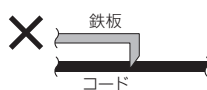
手順 2

製品の固定

⚠ コードは断線やショートなどを防ぐため下記の場所を避け引き回し固定してください。

①鉄板の鋭角部やネジの尖った先端

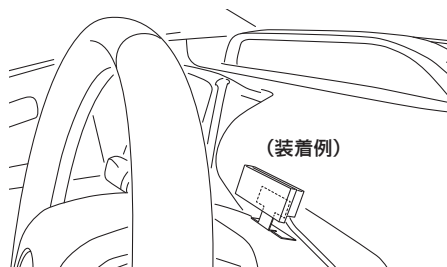
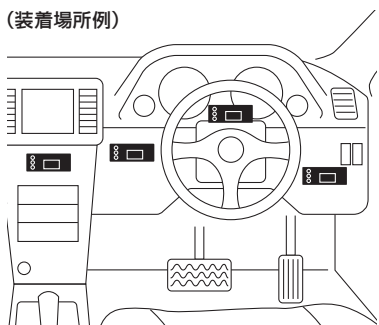
②ハンドルを回し動くシャフトやチルトを上下し動く機構付近



コントローラーの固定

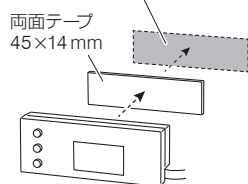
表示が見やすく操作しやすい場所に装着してください。

(装着場所例)



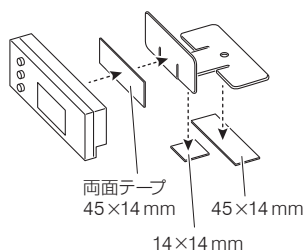
●直接装着する場合

汚れ・油分をキレイにする

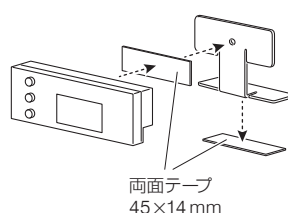


●L字ステーで装着する場合

低い位置に設置する場合



高い位置に設置する場合

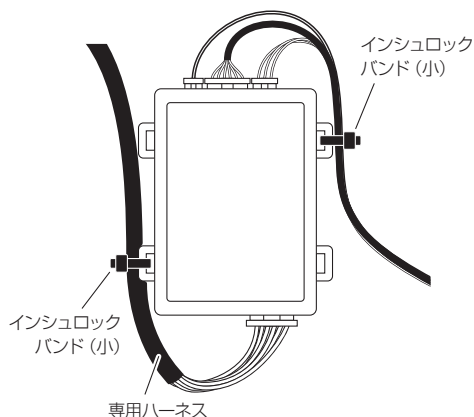


ユニットの固定

下図のような水のかからない場所に固定してください。

ユニットのコード処理

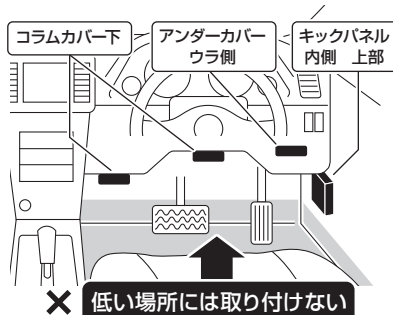
各コードが足などに引っ掛かり、端子が抜けないようコードを固定してください。



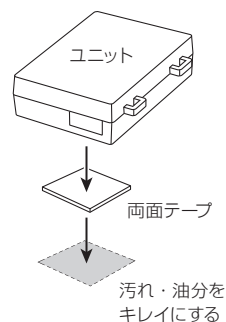
ユニットの固定

下図のような水のかからない場所に固定してください。

(装着場所例)



●平面に固定する場合



レバースイッチの装着

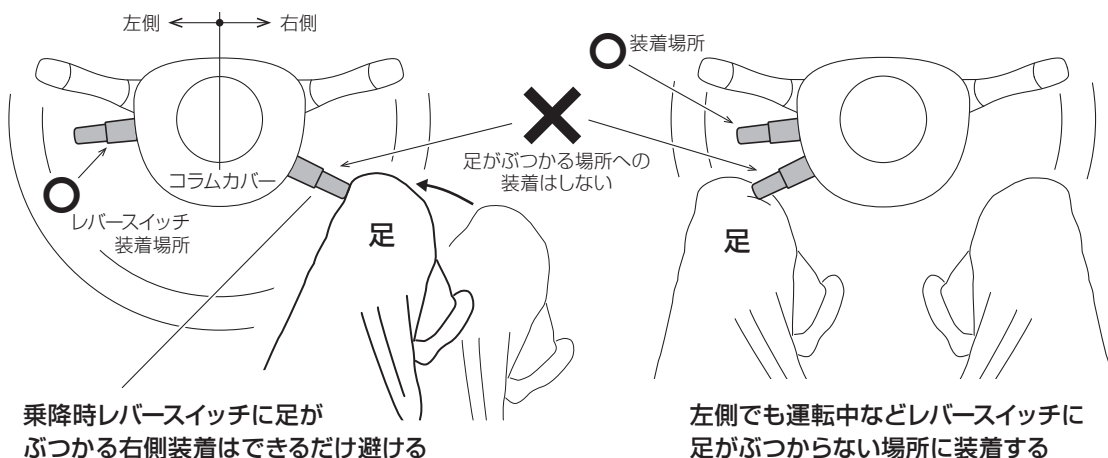
⚠ レバースイッチ装着場所のご注意

レバースイッチに足などが強い力でぶつくと破損の恐れがあるため、乗降時に足が当たりやすいコラムカバー右側はできるだけ避け、左側などの足がぶつからない間隔を確保した場所へ装着してください。

装着しない場所

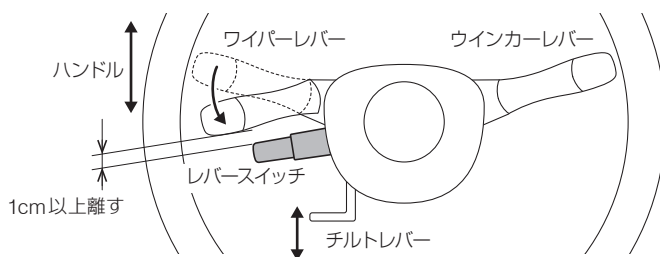
- 乗降時や運転中などに足や手がレバースイッチにぶつかり破損する恐れがあるコラムカバー右側や左側でも足や手が当たる恐れのある場所は避ける。

※ 右側へ装着する場合は乗降時などに足や手がぶつからない間隔のある場所にする。



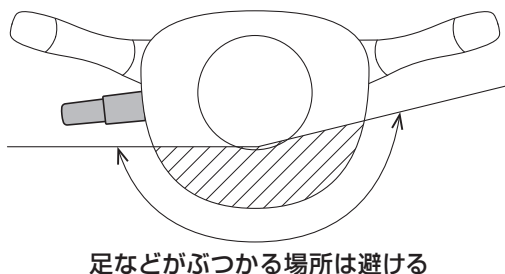
- クルマ側のスイッチなどを動かしてレバースイッチに当たる場所には装着しない。

ウinker (前後と上下)、ワイパー (全ポジション)、チルトレバー (ロックと解除)、ハンドル (上下)、キースイッチなど



装着位置を決める手順

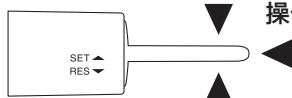
- ワイパーまたはウinkerレバーの根元近くで上記「装着しない場所」ではないことを確認して位置を決める。
- コードをコラムカバー表側か内側を通すか選ぶ。
(8ページ参照)
(左側はコード出口が上、右側はコード出口が下)



作業中の注意

作業中、レバースイッチの操作部に強い力がかからないよう本体部を持って行う。

レバースイッチ



操作部には強い力をかけない

ご使用の
まえに

製品の
特長

配線
接続
方法

製品の
固定

初期
設定

車速
バルス
設定

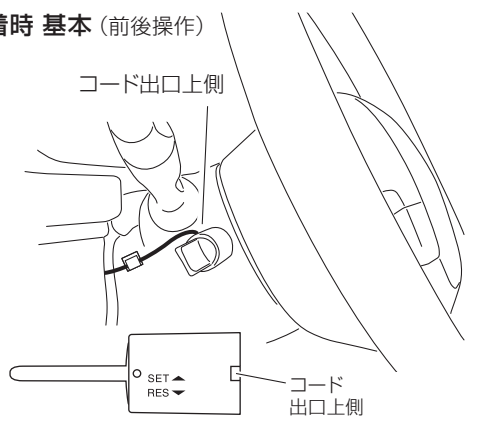
操作
方法

お困りの
ときは

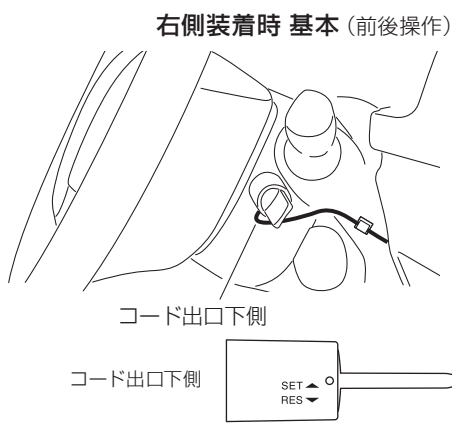
レバースイッチの装着

レバースイッチはコラムカバーに両面テープで装着できます。

左側装着時 基本（前後操作）

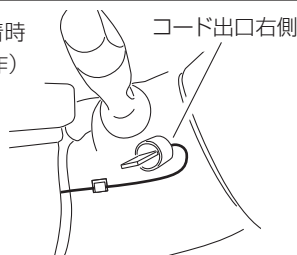


右側装着時 基本（前後操作）

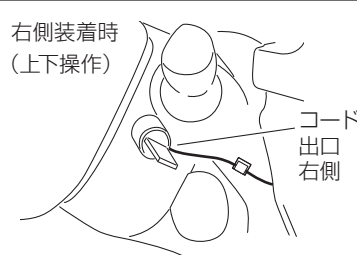


レバースイッチは右図のように
上下操作でも可能ですが
コード出口に合わせてSET動作が
必ず上側となるようにしてください。

左側装着時 （上下操作）

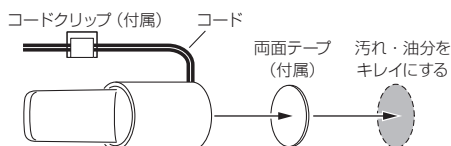


右側装着時 （上下操作）



レバースイッチは両面テープで固定してください。

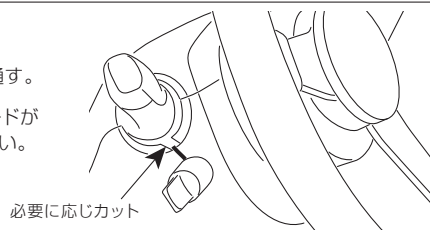
- 両面テープは約1日経過で接着力が最大になります。
- できるだけ平面部に貼り付けてください。
- 貼り換えなどで両面テープの接着力が下がった時は市販品を使用してください。



コードを目立ちにくくする方法1

ワイパーまたはウインターレバーの根元とコラムカバーの隙間へコードを通す。

- ※1 コードを通す隙間がない場合や、クルマのレバー操作時にレバーとコードが当たる場合は、断線防止のためコラムカバーの一部をカットしてください。
- ※2 作業時はコラムカバーを外してください。
- ※3 クルマによっては通せない構造の場合もあります。



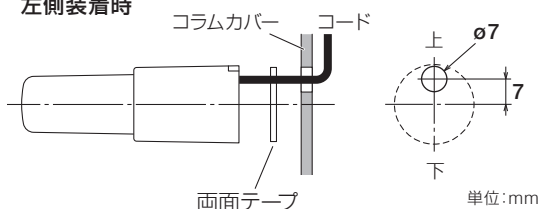
コードを目立ちにくくする方法2

コラムカバーにコードの通る穴を開けコードを通す。
※作業時はコラムカバーを外してください。

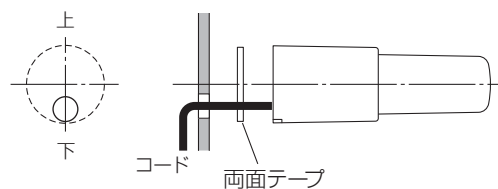
コードをコラムカバー内に
通す場合は両面テープの
一部をカットしてください。



左側装着時



右側装着時



手順 3

初期設定 (アクセル開度設定) 必ず行ってください。

はじめて装着したとき



初期
設定

違うクルマに装着したとき



初期
設定

- この作業は、クルマのアクセル特性を製品に設定するためのものです。
- 設定を行わないと、モード表示を換えてもノーマル状態のままです。
- この作業を行わないと、チェックランプが点灯する場合があります。

初期設定作業のまえに

1. 設定はすべての配線 (コネクター装着) 後に行ってください。
2. 設定は **パワースイッチ ON**・**エンジンを始動しない**・ギヤ位置 **P** または **N** で行ってください。
パーキング ニュートラル

【設定方法】

- 1 車輻側の
パワースイッチをONにする
(エンジンは始動しない)



ブレーキ踏まず 2回押す
(1回でONになる車種あり)

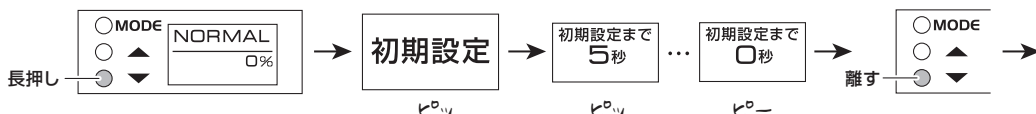
押して
離す



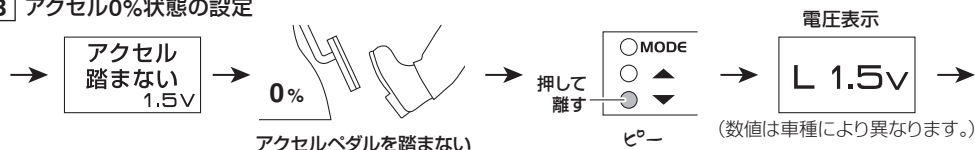
ノーマルモードにする

表示が「NORMAL」以外の場合は、MODEスイッチを押し、「NORMAL」にしてください。

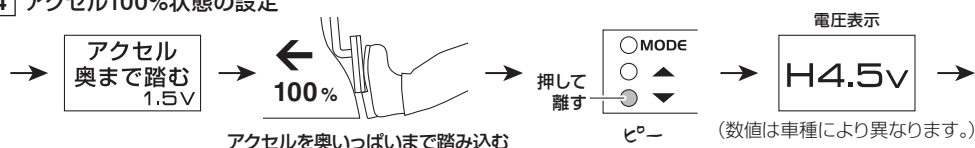
- 2 初期設定モードに入る (▼スイッチ長押し)



- 3 アクセル0%状態の設定



- 4 アクセル100%状態の設定

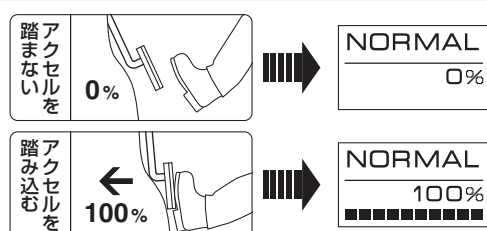


- 5 設定の完了



他のクルマに装着する時は必ず再設定を行ってください。
設定後にバッテリーや配線を外した場合の、初期設定は不要です。

設定の確認 ※表示が違う場合は再度[2]から行ってください。



エラー表示になる場合

エラー

エラー表示後[3]の表示に戻る場合はアクセル開度設定が確実にできていません。もう一度[3]から設定をやり直してください。

ご使用の
まえに

製品の
特長

配線
接続
方法

製品の
固定

初期
設定

必ず
行って
ください。

車速
ハルス
設定

操作
方法

お困りの
ときは

手順 4

車速パルス設定

設定するパルス数は別紙「配線一覧表」を参照してください。

車速パルス設定は正しく行ってください。



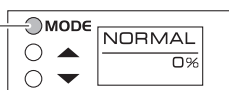
正しく設定されていないと、オートクルーズ設定可能速度の約40～140 km/h以内でも、オートクルーズをセットすることができません。

1 車輦側の パワースイッチを ON にする (エンジンは始動しない)



ブレーキ踏まず2回押す
(1回でONになる車種あり)

押して
離す



ノーマルモードにする

表示が「NORMAL」以外の場合は、MODEスイッチを押し、「NORMAL」にしてください。

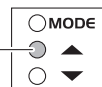
2 コントローラーの ▲(アップ) スイッチを 3秒長押しする

3秒
長押し



車速設定

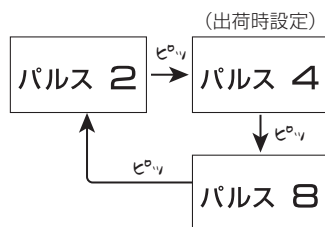
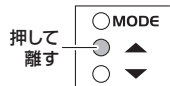
「ピー」と音が鳴り
「車速設定」と表示される



パルス 4

現在のパルス数が
表示される

3 ▲(アップ) スイッチを 押して離し 設定するパルス数を 選択する



4 3秒間操作なしで 「ピー」と音が鳴り 通常表示に戻る **設定完了**

テスト走行

各配線と「初期設定」「車速パルス設定」が完了したら、簡単な確認を行ってください。

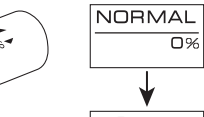
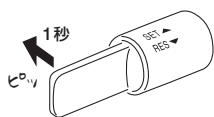


テスト走行は、歩行者や交通量の少ない、安全な広い場所で行ってください。
本書をよくお読みいただき、操作方法をご理解の上で行ってください。

1 エンジン 始動



2 SET▲スイッチを 1秒長押しし オートクルーズモードをONにする



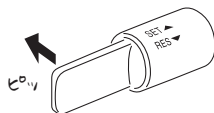
アイコンが
点灯
オートクルーズモードON

3 走行開始 (45km/h以上)



4 オートクルーズをセットする

SET▲スイッチを
押して離す



5 設定速度で自動走行



○ 速度表示になる
⇒ 各配線・設定は問題ありません。

× 速度表示にならない
⇒ 下の各項目を確認してください。

(速度表示 90km/h 例)

ブレーキ

●「ブレーキ」が表示される場合
灰コードの接続不良 ⇒ 4～5ページ

速度外

●「速度外」が表示される場合
車速/パルス設定不良 ⇒ 10ページ
オレンジコードの配線間違い ⇒ 5ページ

●スイッチを押しても表示が切り換わらない場合
初期設定不良 ⇒ 9ページ

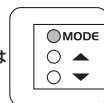
オートクルーズ解除方法



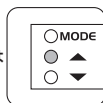
ブレーキペダル
を踏む



RES▼スイッチ
1秒長押し

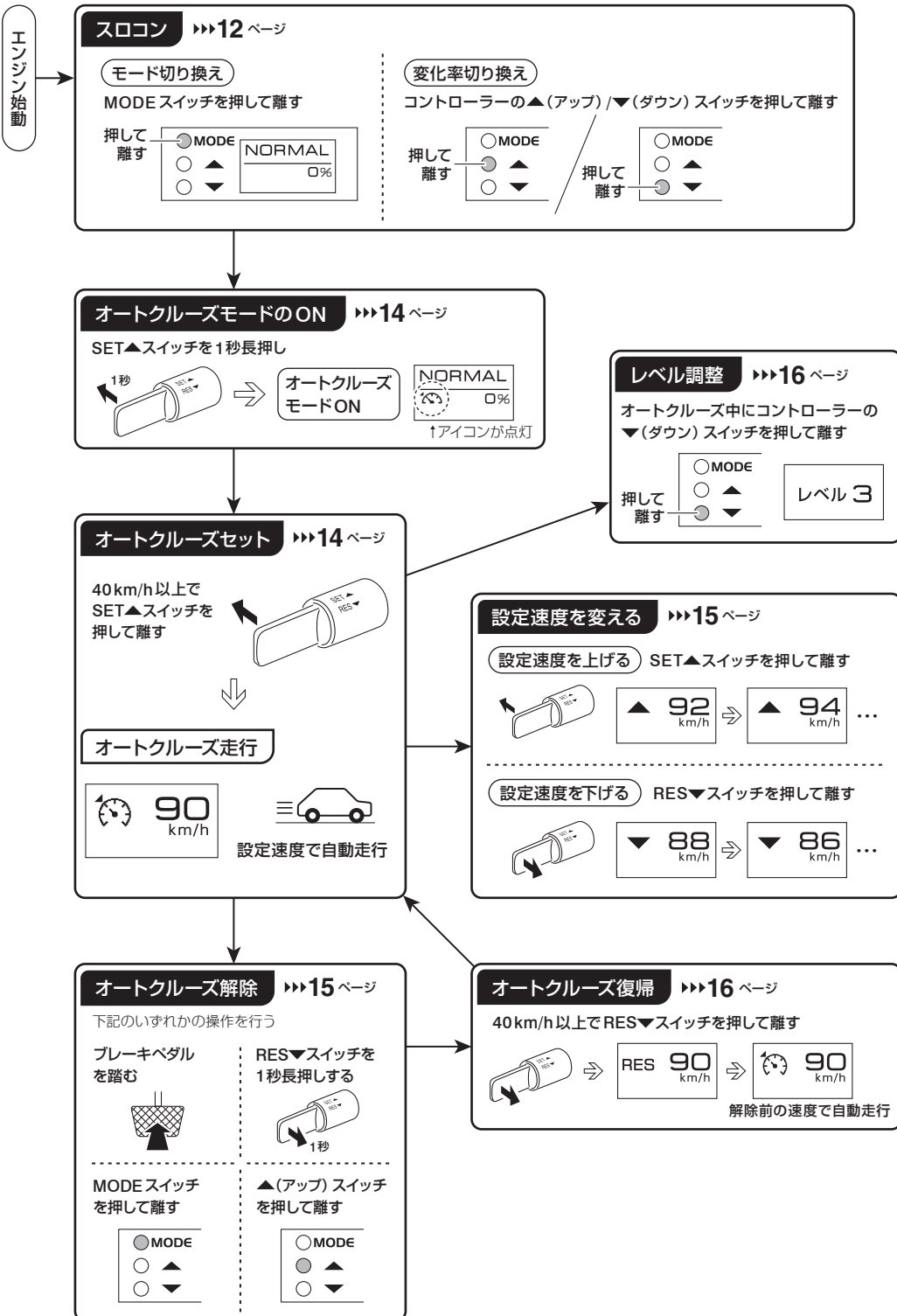


MODEスイッチ
を押して離す



▲(アップ) スイッチ
を押して離す

基本動作



ご使用の
まえに

製品の
特長

配線
接続
方法

製品の
固定

！
初期
設定

車速
バルス
設定

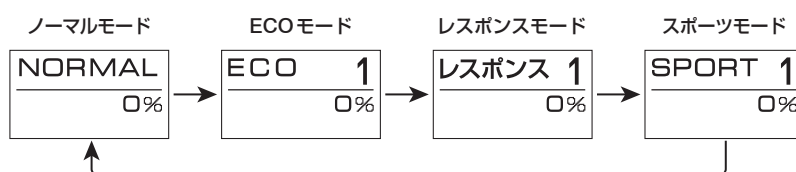
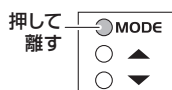
操作
方法

お困りの
ときは

スロコン操作方法

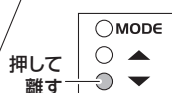
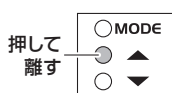
モード切り換え

MODEスイッチ
押し離すごとに
切り換わり



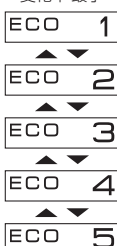
変化率の切り換え

各モード表示中にコントローラーの
▲(アップ)/▼(ダウン) スイッチ
押し離すごとに切り換わり



ECOモード (5段階)

変化率 最小



変化率 最大

レスポンスモード (5段階)

変化率 最大



変化率 最小

スポーツモード (7段階)

変化率 最大

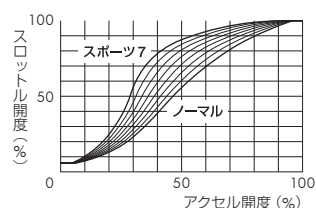
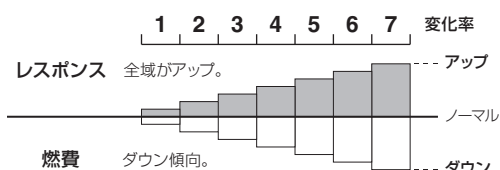


変化率 最小

各モードの特徴

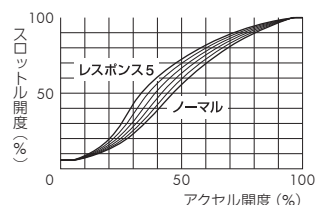
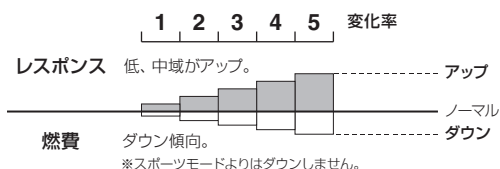
スポーツモード

サーキット
スポーツ



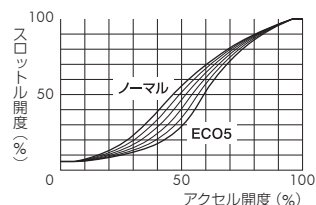
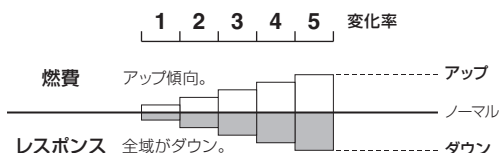
レスポンスモード

サーキット スポーツ
ワイヤー特性に近い



ECOモード

ECO運転 市街走行
渋滞走行 滑りやすい路面



- ・始動時のモードは、前回のモードとなります。
- ・モードの切り換えを行っても各変化率は変更されません。

※ ECOモードでは、純正状態よりもレスポンスを下げた低燃費走行が可能です。ただし、意図的に急加速運転をすると燃費は悪化します。

※ レスポンス変化はパワーの大きいクルマほど大きくなります。

アクセル開度モニター アクセルの踏み込み量を表示します。(出力信号側)

- アクセル開度モニターはアクセルを踏まない状態を0とし、奥まで踏んだ状態を100としてECU側に出力する開度率です。
- 0～100%まで1%単位で表示。



アクセル開度 (出力側)
67%時

用途 1 エコ運転時のアクセル操作チェック

発進から加速時に低燃費となるアクセル開度は約15～25%以内です。エコ運転時はECOモードと併用されると効果的です。



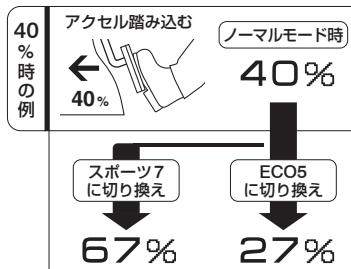
用途 2 運転中のアクセル操作チェック

ECOモード以外でもアクセル開度がチェックできますので各変化設定のチェックなどにご利用ください。

用途 3 制御状態のチェック

パワースイッチON (エンジン停止) 状態でノーマルモードでアクセルを40%まで踏み込み、モードをスポーツ7にすると表示は67% (出力67%) となり、ECO5では表示は27% (出力27%) となります。

※表示は多少異なる場合があります。



ご使用の
まえに

製品の
特長

配線接
続方法

製品の
固定

！
初期設
定

車速バ
ルisset
設定

操作
方法

お困り
のとき

オートクルーズ操作方法

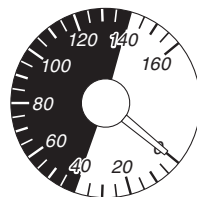
オートクルーズをセットすると、アクセルペダルを踏まなくても設定した速度で自動走行できます。

⚠ オートクルーズ走行中の注意

- クルマの速度計と設定速度が多少異なる場合はクルマの速度計に従ってください。
- 下り坂などでは設定以上の速度になる場合もあるため、クルマの速度計は常に確認してご使用ください。
- 本製品には自動減速機能はありませんので安全な車間距離を守りご使用ください。
- 滑りやすい路面、急カーブ、渋滞路、急な下り坂では使用しないでください。
- エンジン回転が上がるため使用中はNレンジにはしないでください。

【設定可能速度】

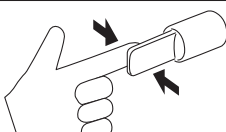
40～140 km/h



純正メーターでは、表示誤差から45～145km/hくらいでの設定になります。

⚠ レバースイッチ操作について

スイッチは軽いタッチで操作できます。
必要以上の強い力では押さないでください。



セットする (オートクルーズの作動方法)

1 エンジン始動

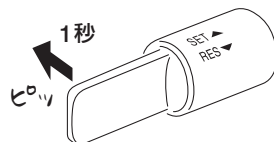


2 スロコン表示



3 SET▲スイッチを 1秒長押しし オートクルーズモードをONにする

※ 再始動時（製品の表示消灯後）は、
オートクルーズモードはOFFになりますので
ONにしてからご使用ください。

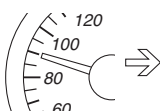


オートクルーズモードON

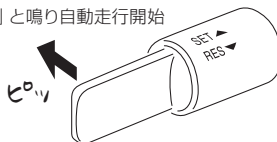
🚗 ←アイコンが点灯

4 40km/h以上で走行中

設定する速度で
SET▲スイッチを
押して離す



押して離す
「ビッ」と鳴り自動走行開始



※ セット時には急激なアクセル操作は
しないでください。

※ 急な上り坂では、セット時、多少減速
してから安定走行になります。

5 設定速度で自動走行



設定速度
を表示

※ 加速時以外はアクセルを
踏まないでください。

【一時的な加速方法】

- ① アクセルペダルを踏むと加速
- ② 離すと ④ の速度に戻りオートクルーズ

加速



アクセルペダル踏む



オートクルーズ



離す



ご使用の
まえに

製品の
特長

配線
接続
方法

製品の
固定

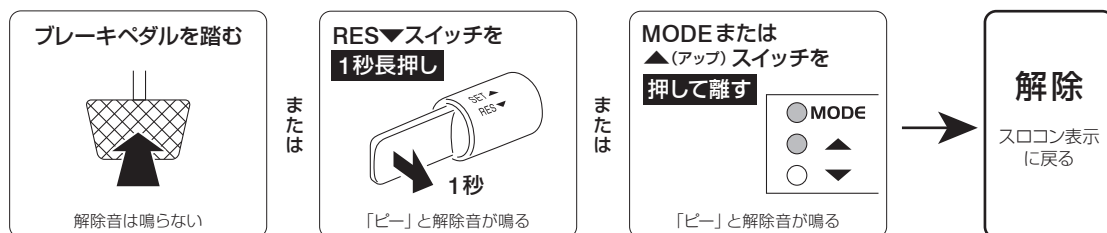
初期
設定
⚠

車速
バルス
設定

操作
方法

お困りの
ときは

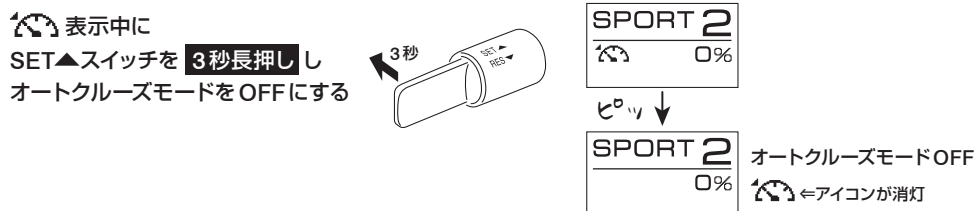
オートクルーズを解除する (オートクルーズ走行を中止する)



【衝突軽減ブレーキ連動】

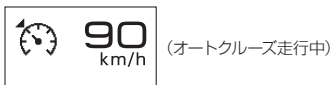
オートクルーズ中にクルマ側の衝突軽減システムが働き自動ブレーキが作動すると
オートクルーズを解除し安全に減速します。

オートクルーズモードをOFF (オートクルーズモードを再始動時状態に戻す)



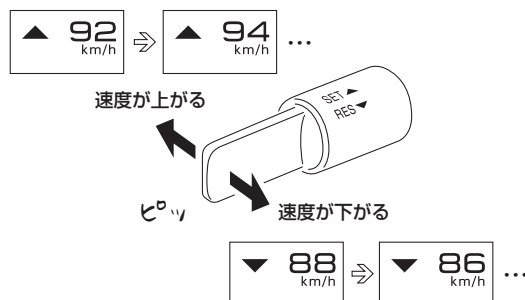
設定速度を変える

SET▲/RES▼スイッチを押し
設定速度を変える



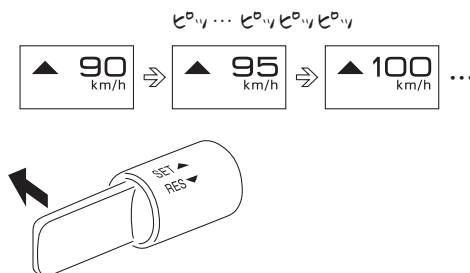
設定した速度表示が車輛の速度計と誤差が出る場合は
車輛の速度計の数値を基準にしてください。

押して離す (2km/hずつ設定速度が変わる)



押して離すごとに「ピッ」と音が鳴り、
約2km/hずつ設定速度が変化します。
表示されている速度まで加減速し、自動走行します。

SET▲スイッチ 長押し (5km/hずつ設定速度が上がる)



「ピッ」と1回鳴った後「ピッピッピッ」という連続音に変わります。
押している間5km/hずつ設定速度が上がり、離したときの表示速度まで加速し、自動走行します。

※ RES▼スイッチは1秒長押しでオートクルーズ解除となるため、5km/hずつ設定速度を下げることはできません。

復帰させる オートクルーズ解除後、スイッチを押すだけで解除前の設定速度に復帰します。

1 オートクルーズ解除

2 通常走行 (40km/h以上)

3 RES▼スイッチ **押して離す**
「ピッ」と音が鳴ります。



※ 安全のため、オートクルーズ解除後に車速が **20km/h** (メーター読みでは約25km/h) 以下になると、解除前の設定速度はリセットされ、オートクルーズ復帰できません。

RES

—

km/h

復帰不可の表示

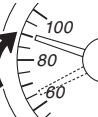
4 「RES」と前回の設定速度が3秒間表示され
前回の設定速度まで自動で加速(または減速)し、自動走行

RES 90 km/h

↓

90 km/h

↙



解除前の速度で自動走行

レベル調整

上り坂などで一時的に下がった速度を設定速度に戻す時間は、エンジン性能(出力)の違いによって変わります。レベル調整を行うことで、速い加速(設定速度に早く戻る)と遅い加速(乗り心地が良い)のバランスをお好みで調整できます。

レベル調整は走行条件やクルマでも異なる場合がありますので、下記はあくまで参考例とし、お好みで調整してください。(製品出荷時は「レベル3」です。)

		【設定の参考例】	
レベル5 側 (速い加速) 小排気量車向け レベル1 側 (遅い加速) 大排気量車向け	エンジン出力が小さいクルマで、設定速度に戻る時間を早くしたい場合は「レベル5」側に上げてください。	エンジン出力が大きいクルマで、設定速度に戻る時間が早く、急な加速で乗り心地が悪い場合は「レベル1」側に下げてください。	
	早く戻す 	ゆっくり戻す 	小排気量車向け ↑ レベル5 ↑ レベル4 ↑ レベル3 (出荷時設定) ↓ レベル2 ↓ レベル1 大排気量車向け 【設定の参考例】 レベル5 アルト レベル4 マーチ・フィット・デミオ・ワゴンR レベル3 ヴォクシー・プリウス・キャラバン・セレナ・インサイト・スイフト・ステップワゴン レベル2 ヴェルファイア・クラウン・ハイエース・エルグランド・レガシィ・MPV・RX-8

⚠ 走行中のスイッチ操作や表示の注視は事故の原因となりますので、安全に十分配慮して行ってください。

【調整方法】 オートクルーズ走行中に調整ができます。

1 オートクルーズ中にコントローラーの▼(ダウン)スイッチを **押して離す**

MODE
○
○
○
○
○

→

レベル3

現在のレベルを表示

2 ▼(ダウン)スイッチを **押して離す** ごとにレベルが切り換わる

MODE
○
○
○
○
○

→

レベル1

→

レベル2

→

レベル3 (出荷時設定)

↓

レベル4

→

レベル5

→

レベル1

3 3秒間操作なしで設定完了

故障かな?と思ったら

基本動作と車輛関係

症 状	原 因	対 策
車輛側のパワースイッチをONにしても表示が点灯しない、または使用中に表示が消灯する。	車輛のブレーキヒューズ切れ。	再度ご確認ください。
	赤 コードの配線間違い、または接続不良。	
	3Pコネクター の接続不良。	
	専用ハーネス の接続不良。	
チェックランプが点灯した。 	「パワースイッチ ON」または「パワースイッチ OFF 後 15 分以内」に アクセルコネクター または 専用ハーネス を抜いた。	抜いたコネクターを元に戻し、チェックランプを消灯させてください。(⇒ 本書 20 ページ)
	「初期設定」が行われていない。	「初期設定」(⇒ 本書 9 ページ) を行い、チェックランプを消灯させてください。(⇒ 本書 20 ページ)
	ノーマルモード以外で取り外した製品を別のクルマに接続した。	ノーマルモードに戻してから「初期設定」(⇒ 本書 9 ページ) を行い、チェックランプを消灯させてください。(⇒ 本書 20 ページ)
初期設定または車速パルス設定に入れない。	オレンジ コードの配線間違い、または接続不良。	再度ご確認ください。
	走行中のため。	停車状態で行ってください。
	オートクルーズモードがONになっている。	オートクルーズモードをOFFにしてください。(⇒ 本書 15 ページ)
初期設定中に「エラー」表示になる。	「初期設定」が正確に行われていない。	「初期設定」を行ってください。(⇒ 本書 9 ページ)
車輛側のパワースイッチをOFFにしても表示が点灯している。	本製品はクルマの ECU 電源に連動しています。そのため、車種によってはパワースイッチ OFF から表示が消えるまで最長 15 分かかりますが、正常な動作です。	

スロットルコントローラー関係

症 状	原 因	対 策
モード切り換えができない。	「初期設定」が正確に行われていない。	「初期設定」を行ってください。(⇒ 本書 9 ページ)
モードを切り換えても変化を体感できない。	「初期設定」が正確に行われていない。	「初期設定」を行ってください。(⇒ 本書 9 ページ)
モードまたは変化率の設定が記憶されない。	モード切り換えまたは変化率設定後、すぐにパワースイッチをOFFにしている。	モード切り換えまたは変化率設定後、2 秒以上経ってからパワースイッチをOFFにしてください。

ご使用の
まえに

製品の特長

配線接続の方法

製品の固定

初期設定の注意

車速パルス設定

操作方法

お困りのときは

オートクルーズ関係

症 状	原 因		対 策	
レバースイッチのSET▲スイッチを1秒長押ししても、オートクルーズモードがONにならない。	「初期設定」が正確に行われていない。		「初期設定」を行ってください。 (⇒ 本書9ページ)	
	2Pコネクター の接続不良。		再度ご確認ください。	
「ブレーキ」表示になり、オートクルーズが動作しない。	灰 コードの配線間違い、または接続不良。		再度ご確認ください。	
	ブレーキランプをLEDに交換している。		純正のブレーキランプに戻してください。	
「速度外」表示になり、オートクルーズが動作しない。	オレンジ コードの配線間違い、または接続不良。		再度ご確認ください。	
	設定可能速度外。			
	「車速パルス設定」が正確に行われていない。		「車速パルス設定」を行ってください。 (⇒ 本書10ページ)	
オートクルーズが自動で解除され、スロコンに切り換わる。	灰 コードの配線間違い、または接続不良。		再度ご確認ください。	オートクルーズを再度お使いになるには、パワースイッチをOFFにし、表示が消灯したことを確認してからエンジンをかけ直してください。
	オレンジ コードの配線間違い、または接続不良。			
	「初期設定」が正確に行われていない。		「初期設定」を行ってください。 (⇒ 本書9ページ)	
	速度が30km/h以下になった場合は自動で解除されます。			
急な上り坂でオートクルーズの設定速度との差が大きい。	オートクルーズレベル調整がレベル小(レベル1側)になっている。		「オートクルーズレベル調整」を行ってください。 (⇒ 本書16ページ)	
オートクルーズの設定速度に戻る加速が強く感じる。	オートクルーズレベル調整がレベル大(レベル5側)になっている。			
オートクルーズ中にアラーム音と同時に「自動ブレーキ」表示になり、オートクルーズが解除される。	自動ブレーキ連動解除機能が作動した。		正常動作です。	
	オレンジ コードの接続不良。		再度ご確認ください。	
オートクルーズ中に設定速度と車輻メーターの速度に差がある。	車速パルス設定が違う。		「車速パルス設定」を再設定してください。 (⇒ 本書10ページ)	
	数km/hの差の場合は、車種による誤差のため正常です。			

表示の種類

使用中の表示（オートクルーズ関連）

表示	説明
	オートクルーズモードON (アイコンが点灯)
	オートクルーズ動作中 (設定速度を表示)
	オートクルーズ中、 設定速度を上げる
	オートクルーズ中、 設定速度を下げる
	一時的な加速 (オートクルーズ中に アクセルペダルを踏むと表示)
	オートクルーズ復帰開始 (リジューム)
	オートクルーズ復帰不可 (リジューム不可)
	車速配線の接続不良等により、 オートクルーズ使用不可
	ブレーキ配線の接続不良等により、 オートクルーズ使用不可
	クルマの自動ブレーキ作動による オートクルーズ解除時

使用中の表示（スロットルコントローラー関連）

表示	説明
	スポーツモード 7段階 (数字が大きい＝レスポンスが高い)
	レスポンスモード 5段階 (数字が大きい＝レスポンスが高い)
	ECOモード 5段階 (数字が大きい＝レスポンスが低い)
	ノーマル(純正状態)
	アクセル開度表示 (0～100%まで1%単位で表示)

設定中の表示

表示	説明
	初期設定モード
	アクセルを踏まない位置の電圧 ※数値は車種により異なります。
	アクセルを奥まで踏んだ位置の電圧 ※数値は車種により異なります。
	車速パルス設定モード
	車速パルス数 ※設定するパルス数は車種により 異なります。
	オートクルーズレベル調整

ご使用の
まえに

製品の
特長の

配線
接続
方法

製品の
固定の

！
初期
設定

車速
パルス
設定

操作
方法

お困りの
ときは

ご使用の
まえに

製品の
特長

配線
接続
方法

製品の
固定

初期
設定

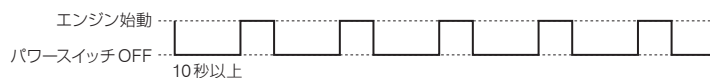
車速
パルス
設定

操作
方法

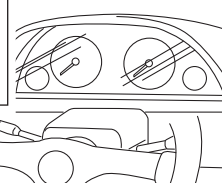
お困り
のとき

チェックランプ消灯方法

- ① パワースイッチを10秒以上OFF後、エンジン始動する操作を5回以上繰り返す。



- ② ①で消灯しない場合は、バッテリーの⊖端子を約10分外し元に戻す。
③ ①②で消灯しない場合は、カーディーラーなどで消灯作業を行う。



※弊社製品には工業所有権出願中、または取得済みが含まれています。

※意匠、制御特性、回路、回路配置などの類似品には、近年不正競争防止法等の法的処置が厳しく適用される事例があります。

※PIVOTマーク無断使用や説明書の無断転載は固くお断りします。